

|          |  |         |  |
|----------|--|---------|--|
| 科目       | 国際コミュニケーション(中国語) (Chinese for International Communication)   |         |  |
| 担当教員     | 牛根 靖裕 非常勤講師  |         |  |
| 対象学年等    | 都市工学科・4年・通年・選択・2単位【講義】(学修単位I)  |         |  |
| 学習・教育目標  | D2(100%)   | JABEE基準 | (a)  |
| 授業の概要と方針 | 現代中国語(標準語)の発音と基礎的文法を、発音・読解・作文の演習を通じて学習する。受講者の教授内容に対する理解をはかる評価対象として、各回講義内での演習、中間・定期試験に加え、随時課す課外の課題への取り組みも重視する。  |         |  |
|          | 到達目標   | 達成度     | 到達目標別の評価方法と基準  |
| 1        | [D2]現代中国語の発音とそのピンインによる表記法を習得する。  |         | 現代中国語の発音とそのピンインによる表記法を講義中の演習(発音練習)、課題によって評価する。             |
| 2        | [D2]現代中国語の漢字(簡体字)の中でも、比較的使用頻度の高いものの書き方を習得する。   |         | 現代中国語の漢字(簡体字)の書き方を講義中の演習(短文読解・作文)、課題によって評価する。              |
| 3        | [D2]現代中国語の簡単な文法知識を習得する。  |         | 現代中国語の簡単な文法知識を講義中の演習(短文読解・作文)、課題、中間試験、定期試験および口頭発表によって評価する。 |
| 4        |  |         |  |
| 5        |  |         |  |
| 6        |  |         |  |
| 7        |  |         |  |
| 8        |  |         |  |
| 9        |  |         |  |
| 10       |  |         |  |
| 総合評価     | 成績は、試験60% 演習(発音、読解、作文、小テスト)40% として評価する。試験成績は中間試験、定期試験の平均点。演習は授業内での暗誦および小テストを課す(複数回)。コミュニケーション能力の養成を重視するため、試験以外の評価を40%とする。試験・演習の評価を総合し、100点満点60点以上を合格とする。                     |         |  |
| テキスト     | 竹島毅・趙昕『《改訂版》さあ、中国語をまなぼう! 一会話・講読一』(白水社,2022年)   |         |  |
| 参考書      | 松岡榮志〔主幹〕,樋口靖・白井啓介・代田智明〔著〕『クラウン中日辞典 小型版(CD付)』(三省堂,2004年)<br>相原茂・石田知子・戸沼市子〔著〕『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』(同学社,1996年;2016年再版)<br>相原茂・喜多山幸子・魯曉琨〔著〕『大事なことはみんなやさしい中国語で言える』(朝日出版社,2001年) |         |  |
| 関連科目     | ドイツ語,韓国語   |         |  |
| 履修上の注意事項 | 現代中国語の学習を通じ、中国の文化・社会に対する関心を深める。受講者には講義の予習・演習・復習への自主的な取り組みが求められる。   |         |  |

授業計画(国際コミュニケーション(中国語))

|    | テーマ                             | 内容(目標・準備など)   |
|----|---------------------------------|---|
| 1  | 講義概要の説明,発音練習(1)                 | 本講義の方針・目標・内容・評価方法の説明,および同説明に関する質疑応答などの後,中国語の声調母音(単母音,複母音,n/ngを伴う母音)とアクセント(声調)の発声法,表記法(ピンイン)を学習する。 |
| 2  | 発音練習(2)                         | 中国語の子音の発声法,表記法を学習する。現代中国(中華人民共和国)で公用文字とされている簡略字「簡体字」についても触れる。                                     |
| 3  | 人称代名詞,「是」構文,基本疑問文               | 「わたし」「あなた」といった各種人称代名詞,述語動詞「是」(AはBである)を用いた構文,「吗」を用いた疑問文を学習する。                                      |
| 4  | 指示代名詞(1),疑問詞疑問文,所属の「的」,副詞「也」「都」 | 「これ」「それ」といった指示代名詞,「什么」(何)・「谁」(誰)を用いた疑問詞疑問文,所属の「的」(～の…)を用いた構文を学習する。                                |
| 5  | 動詞述語文,所有の「有」,指示代名詞(2)           | 動詞を述語とする構文,所有を表す「有」を用いる表現,「ここ」「そこ」といった指示代名詞を学習する。   |
| 6  | 形容詞述語文,数字,発音・表記法,量詞             | 形容詞を述語とする構文,数字の発音と表記,および「量詞」(助数詞)の用法を学習する。  |
| 7  | 時・時間量の数詞,反復疑問文,介詞(1)            | 日付・時刻・時間量を表す言葉の発音と表記,「肯定+否定」で構成する反復疑問文,介詞「在」「从」を用いる構文を学習する。                                       |
| 8  | 中間試験                            | 第1週から第7週までの内容について試験を行う。   |
| 9  | 中間試験の解答とまとめ                     | 中間試験の内容について解説する。中国語短文暗誦課題の説明,課題用短文は受講者の要望を汲んだ上で告知する。  |
| 10 | 完了を表す「了」,所在を表す「在」,助動詞「想」        | 述語の後ろに置き「完了」を表す助動詞「了」,人・ものが特定の場にあることを表す動詞「在」,および「～したい」の意を表す助動詞「想」の用法を学習する。                        |
| 11 | 介詞「在」「离」「从」「到」「跟」「給」            | 「～で」「～から」「～まで」「～と」「～に」などの意を表す各種介詞の用法を学習する。  |
| 12 | 助動詞「得」,経験を表す「過」,「是～的」構文         | 「～しなければならない」の意を表す「得」,動詞の後ろに置かれ過去の経験を表す「過」,および強調構文「是～的」の用法を学習する。                                   |
| 13 | 助動詞「能」「会」,動詞の重ね方                | 助動詞「会」「能」の用法,同じ動詞を重ねる表現を学習する。   |
| 14 | 文法のとまとめ                         | 前期に扱った代名詞,助動詞,介詞などについて,各々の働きと違いについて,復習・確認を行う。   |
| 15 | 総合復習                            | 中間試験以降の講義での学習内容について,復習・確認を行う。   |
| 16 | 前期学習内容の復習                       | 動詞述語構文,助動詞など前期学習内容について,復習・確認を行う。  |
| 17 | 結果・程度を表す助詞「得」                   | 形容詞・動詞の後に置かれ,結果・程度を表す補語を導く助詞「得」の用法を学習する。  |
| 18 | 動詞の進行を表す「在(～呢)」                 | 「～しているところだ」の意を表す「在(～呢)」の用法を学ぶ。  |
| 19 | 「来」「去」を中心とする連動文                 | 動詞「来(くる)」「去(いく)」を用いた事例を中心に,連動文を学習する。  |
| 20 | 「還是」を用いた選択疑問文,既習各種疑問文の復習        | 「還是」を用いた選択疑問文(AかBか)の構造を確認後,既習の疑問文についても復習を行う。  |
| 21 | 助詞「比」を用いた比較文                    | 助詞「比」を用いた比較文(AはBにくらべて～)を学習する。   |
| 22 | 復習                              | 第17回講義以降の学習内容について復習する。  |
| 23 | 中間試験                            | 第17回から第21回までの講義での学習内容の習得状況を,筆記試験により確認する。  |
| 24 | 中間試験の解説                         | 中間試験の問題,解答の確認を行い,内容について解説する。  |
| 25 | 「的」を用いた名詞の修飾                    | 「的」を用いた動詞句・形容詞句による名詞の修飾を学習する。   |
| 26 | 1つの動詞が2つの目的語をとる文,主述句を目的語とする文    | 「AにBを～する」といったような,1つの動詞が2つの目的語をとる文,ならびに主語述語句を目的とする文の用法を学習する。                                       |
| 27 | 介詞「被」「让」を用いた受け身文                | 介詞「被」「让」を用いた受け身文(AはBによって～される)を学習する。   |
| 28 | 総合復習                            | 中間試験以降の文法,語法について,復習・確認を行う。  |
| 29 | 作文課題作成                          | 受講者がそれぞれ自己紹介文を作文する。同課題作文は受講者の要望を汲んだ上で作成する。  |
| 30 | 総合復習                            | 後期学習内容について,復習・確認を行う。  |
| 備考 | 前期,後期ともに中間試験および定期試験を実施する。       |   |